

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業			部局	農政部	課・室	農業技術課
				実施期間	T2 ~	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

・人口減少・高齢化により農業・農村を支える基幹的農業従事者が大幅に減少（73千人（2015年）→56千人（2020年））していることから、意欲ある担い手の確保・育成が急務となっている。  
 ・県農業大学校には一定数の県外出身者がおり（29.4%（2023年））、卒業生の県内定着率も高く（2023年度卒業生91%）、県農業を支える人材の呼び込み・育成に貢献していることから、本県農業の次代を担う人材育成機関として、引き続き担い手の確保・育成に向けた継続的な取組が必要である。

### 2 事業目的


農業改良助長法に基づき、農業の専門的知識・技術及び人格を備えた農業経営者や指導者を養成することで、農業生産を維持する。

### 3 事業目的を達成するための取組

**①県農業を支える人材の確保**  
 ・県内外の意欲ある学生を呼び込み、県内への定着を図るため、カリキュラムや学びの環境といった県農業大学校の魅力を幅広くPR

**②実践的なカリキュラムの構築による農大生や農業者の指導・育成**  
 ・最新の農業政策等に対応できる学生を育成するため、スマート農業技術やみどりの食料システム戦略などを学ぶ実践的なカリキュラムを実施（農学部）  
 ・新規就農者を確保・育成するため、農業体験や各種研修を実施するとともに、就農者へけん引免許や大型特殊免許の取得を支援（研修部）

**③関係機関と連携を強化した就農支援**  
 ・学生の就農意欲を向上させるとともに、多様な就農者を確保するため、先駆的農業者だけでなく、若手の就農者の助言を受ける機会を設けるほか、農業農村支援センターとの連携を強化し、学卒就農から社会人経験後の就農まで、様々な就農の形を広く支援



〈直進アシストラクタの操作体験授業〉

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移				
①	農学部 卒業生の県内農業関係職への就職割合	%	92	91	↓	91	→	95		県農業への貢献をみる指標として農業関係職（就農＋農業関連団体・農業関係企業への就職）に就く農学部卒業生のうち、県内への就職割合を目標値として設定。直近の実績に基づいて95%を目標とする。	
②	研修部 大型特殊免許取得率	%	100	100	→	98	↓	98		研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多い大型特殊免許の取得率を目標値として設定。直近の実績に基づいて98%を目標とする。	
③	農学部 卒業生就農率	%	55	69	↑	60	↓	67		事業の要となる農学部卒業直後の就農率を目標値として設定。農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」の目標値から67%を目標とする。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	農業における中核的経営体数	経営体	2021 (R3)	10,044	2022 (R4)	10,061	2023 (R5)	10,288	2027 (R9)	10,700
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規就農者数(49歳以下)	人/年	2021 (R3)	212	2022 (R4)	189	2023 (R5)	172	2027 (R9)	215
5-3①	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成										

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案		102,257		102,257	63,870	30.0
	要求		135,143		135,143	85,889	
R6年度	1,518	92,931	16,660	111,109	67,565	30.0	
R5年度	4,029	72,990	1,518	78,537	42,596	70,455	30.0
要求からの 主な変更点	農業大学校施設整備費について、1月補正予算で環境制御型パイプハウス工事を前倒して実施するため、工事費用を減額						

事業名	<b>農業大学校運営事業</b>	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	<b>農業大学校運営費</b>	49,651 千円	53,627 千円	予算案 57,570 要求 57,570 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校運営費	直接	総合農学科の学生に対して、農業に関する知識と技術の修得を図るため、実践的な講義や実習を通じた教育を実施 総合農学科生80名を指導	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
2	<b>実科・研究科費</b>	9,052 千円	8,922 千円	予算案 8,178 要求 8,178 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、栽培技術の習得及び就農促進のため、農業関係試験場での実習を通じた教育を実施 実科・研究科生40名を指導	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
3	<b>研修部費</b>	11,446 千円	13,632 千円	予算案 16,280 要求 16,280 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	研修部費	直接	就農者を確保・育成するため、里親前基礎研修や農業機械利用技能研修を実施 農業機械利用技能研修を12回開催	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
4	<b>農業大学校施設整備費</b>	2,841 千円	16,750 千円	予算案 20,229 要求 53,115 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校施設整備費	直接	・実科・研究科生の生活環境を整えるため、学生寮の電気設備を整備 ・総合農学科生の学習環境を整えるため、農業機械及び設備を更新 学生寮の電気設備工事実施 1か所、コンバインの導入 1台	